

第83回通常総代会が開催されました



誰もが健康で居心地よくくらするまちづくりへの挑戦

6月16日に横須賀商工会議所で神奈川みなみ医療生協第83回通常総代会が開催されました。総代会では2023年度の活動のまとめや、2024年度の活動方針や予算などが話し合われました。

全体会討論では、会場から6人が地域や事業所で行っている活動についての報告をし、議案の内

が賛成多数で採択されました。また、役員の改選が行われ、これまで専務理事を務めてきた秋田直樹さんが退任され、片倉博美さんが専務理事に選出されました。

世界へ 誰一人取り残さないまちづくりを進めよう(別掲)を満場一致で決定しました。協同の力で、誰もが健康で居心地よくくらするまちづくりを進めていきましょう。

2024年度の活動の中心テーマ

- 1. 「事業・経営」 三浦半島地域の医療・介護提供体制の変化に対応し、無差別・平等の医療・福祉の実現のために求められる役割を果たす事業所に変革する立場で、事業と経営を守り抜きます。
2. 「人づくり・学び」 医療福祉生協を多くの人に知ってもらい、医療生協活動への共感を広げて仲間ふやしと人づくりを進めます。
3. 「健康づくり・まちづくり」 世代や組合員の枠を超えた多様な参加で地域まるごと健康づくりと安心のまちづくりを進めます。
4. 「平和で公正な社会づくり」 日本国憲法を守り、一人ひとりを大切にすることを社会の実現を目指して行動します。

議案採択の状況

Table with 3 columns: 議案番号, 採択状況 (賛成/反対/保留), 内容 (e.g., 2023年度事業活動報告承認の件, 2024年度活動方針及び収支予算承認の件)

《功労賞表彰者》 敬称略

- 【シヨートステイ安楽楽】 綿路 孝
【デイサービスみうら】 渡部 慎司
【医療生協本部】 土田 信彦

《永年勤続表彰者》 敬称略

- 【常勤職員】
●20年表彰者 山下 美紀
●10年表彰者 嘉山 純子
【医療生協本部】 中山 麻美
【衣笠診療所】 土田 信彦
【医療生協本部】 清水 和代
【みうら訪問看護ステーション】 田口 真澄
【衣笠訪問看護ステーション】 田口 真澄

特別決議

平和・いのち・人権が大切にされる世界へ 誰一人取り残さないまちづくりを進めよう

ロシアによるウクライナへの軍事侵略や台湾情勢の緊張を理由に、莫大な軍事費確保を目指すなど、政府は大軍拡へのかじを切りました。一方で、社会保障費などぐらに必要予算が削られ、さらなる増税が計画されています。

戦争の準備が進められれば、私たちの暮らしはますます困難にさらされます。私たちは、平和で、一人ひとりのいのちや人権

戦争の準備ではなく平和の準備を私たちは求めています。政府の軍拡政策に反対し、いのちが大切にされる社会のために地域から声をあげ、広げて

能登半島地震から6ヶ月が過ぎました。石川民医連の仲間たちは被災地を訪ね、被災者との対話を重ね様々な支援活動に取り組んでいます。報

が守られ、お互いに支え合い、誰一人取り残されることがない社会に生きたいと願っています。そのためには平和な社会であることが大前提です。

いきました。その声はいのちが脅かされ、人権が侵害されているウクライナやガザ地区の人々のいのちを守る世界の運動につながります。

道されているように復興は進んでおらず、長い取り組みになります。私たちは全国の支援活動に結集し、被災者を励まし支えていきます。

り、いのちが大切にされるまちづくりを進め、医療生協の医療や介護、事業・経営が守られ、成長できる組織であり続けられるよう、職員・組合員の力を結集して取り組みます。

以上、決議します。

2024年6月16日
神奈川みなみ医療生活協同組合
第83回通常総代会

三浦半島 地名の由来 47

津久井

津久井は横須賀市の東部に位置し、三浦市との境にあります。京浜急行の津久井浜駅があり、みかん狩りやいちご狩りで訪れたことがある方も多くいらっしゃるでしょう。



津久井氏の菩提寺「東光寺」

衣笠城の最後の城主である三浦氏の三浦大介義明の弟、義行が津久井氏を名乗り、現在の津久井に本拠を構えたことからこの一帯を津久井と呼ぶようになったようです。

源頼朝が打倒平家のために挙兵すると、他の三浦一族とともに津久井氏も頼朝について戦いましたが、のちに起きた「承久の乱」では朝廷側につき、敗れたためこの地から津久井氏は姿を消すこととなります。しかし、神奈川県西部や山梨県、群馬県などに残党が落ち延びたとの伝承があります。平成の大合併で相模原市と合併してしまいましたが、津久井湖で有名な旧津久井郡の「津久井」の呼称は、鎌倉時代に現在の城山に津久井城を築いた三浦氏支族の津久井(築井)氏に由来するとされています。

津久井氏の館があったとされる場所は、「峯屋敷」と呼ばれていて、東光寺から見て、西南の高台がそれにあたります。津久井氏の菩提寺とされる東光寺では御朱印ならぬ、津久井一族の館「津久井館」の御城印がいただけるそうです。一度訪れてみてはいかがでしょうか？



津久井館の「御城印」

2024年5月度 理事会報告

1. 第83回通常総代会に向けて話し合いました。

- ①総代会の運営や任務分担について確認しました。
- ②総代会の議案について最終確認を行いました。

2. 2023年4月度の患者利用者状況報告

外来患者：3,178人、訪問看護：131人
 訪問ヘルパー：57人、デイサービス：106人
 ショートステイ：55人、ケアプラン：254人

3. 2024年4月度の経営状況報告

4月度の経常利益はマイナス607万7千円でした。
 2023年度の累計経常利益はマイナス58万3千円でした。

4. 2024年4月度 組織活動統計の報告

仲間ふやしは21人でした。出資金増資は97万2千円でした。

2024年6月末現在 組合員数13,319人 / 出資金 374,785,500円

からだ動かそう!

健康 ヨガ

Lesson⑥1 橋のポーズ

効果：二の腕を細くする。背中中の筋肉をつける。

1. 両足を伸ばして座ります。 3. ゆっくり腰を床におろして両手を後ろで、肩幅に広げます。 リラックスしましょう。
2. 息を吸いながら、ゆっくり腰を上げます。 5秒から、10秒キープしましょう。 息を吐きながら、下ろします。



2セットやります

やさしいヨガ教室



日時：毎週水曜日 ①9:45~ ②11:00~
 定員：各回7名(要予約)
 会場：ほっとスペースみなみ(医療生協本部1階)
 料金：1回1,000円
 ※組合員は、1,000円のうち500円を出資金とします。
 問合せ：医療生協本部 ☎046-853-8105
 監修/折戸めぐみ(横須賀ピラティス・ヨガ教室主宰・やさしいヨガ教室講師)

ピラティス・ヨガ教室の
 YouTubeチャンネルはこちら⇒



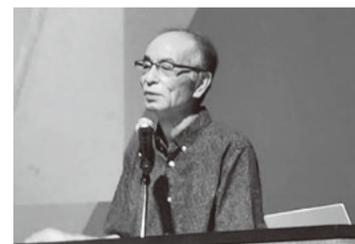
2024年 医療福祉生協連 神奈川エリア大学習会

誰もが暮らしやすい 地域づくりを目指そう

～見守る手、支える手でやさしい場づくり～

戸塚区民文化センターさくらプラザ

5月30日(木) 神奈川県内の4つの医療生協と福祉クラブ生協共同でエリア大学習会を開催しました。今年のメインテーマは「誰もが暮らしやすい地域づくりを目指そう～見守る手、支える手でやさしい場づくり～」。



記念講演は信友直子さん(TVディレクター、映画監督)をお迎えし、『ぼけますから、よろしくお願ひします。と気兼ねなく言い合える地域社会をめざして』をテーマにお話しをいただきました。

エリア大学習会に参加するにあたって、2018年の映画「ぼけますから、よろしくお願ひします」を見てから参加した組合員も多く、映画で描かれたご両親のその後や地域に支えられている様子などに共感が深まりました。

各生協からの活動報告では健康診断のおすすめや地域でのつながりについて多彩な報告がありました。神奈川みなみ医療生協からは三浦市の上宮田団地へ、職員と組合員が協同で継続した訪問行動を実施したことを報告しました。生協活動の特性を生かし、地域のつながりを大切に誰もが暮らしやすい地域づくりを目指していきましょう。

勤労市民センターフェスティバル

三崎の活動拠点 勤労市民センター存続へ

昨年、三浦市は財政難を理由に勤労市民センターを2023年度中に廃止する方針を打ち出した。



布ぞうりも大人気



健康チェックは大盛況

三浦市は、昨年12月に勤労市民センターの存続とエレベーターなど老朽化した施設の改修費用など2024年度予算に盛り込む方針を示しました。5月25日(土)、26日(日)の二日間、三浦市勤労市民センターフェスティバルが開催され、大勢の参加で成功しました。三浦市内のサークルなどが日頃の練習の成果を披露するなど、楽しく交流しました。神奈川みなみ医療生協も三浦診療所として健康チェックを実施し、50人の方にご利用いただきました。また、三浦東支部も布ぞうりの販売などで参加しました。

三浦市は、昨年12月に勤労市民センターの存続とエレベーターなど老朽化した施設の改修費用など2024年度予算に盛り込む方針を示しました。5月25日(土)、26日(日)の二日間、三浦市勤労市民センターフェスティバルが開催され、大勢の参加で成功しました。三浦市内のサークルなどが日頃の練習の成果を披露するなど、楽しく交流しました。神奈川みなみ医療生協も三浦診療所として健康チェックを実施し、50人の方にご利用いただきました。また、三浦東支部も布ぞうりの販売などで参加しました。

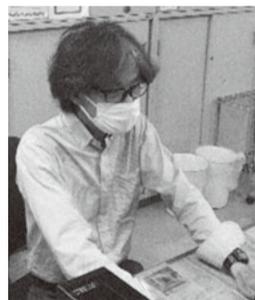
JR横須賀線衣笠駅前に神奈川みなみ医療生協の本部があります。1階はリーススペースで会議やヨガ教室、機関紙の配布作業

医療生協 医本部 みなみのわ 総務部庶務係

などをこなしています。2階は総務部、3階は組織部の事務所があります。今回は総務部の庶務業務について紹介させていただきます。

出資金等の

お問い合わせは総務部へ



庶務担当専任者は1名で、経理業務の一部を兼務している職員と2名で行っています。業務は多岐にわたり、社内に向けた業務提供も行うことがあります。重要なポジションですが非常に地味な仕事です。大きく分類すると、労務管理(勤怠、給与)、社会保険業務、書籍や会報等の情報誌管理配布、

福利厚生業務、その他ご要望があればいろいろと行います。雨漏りの補修も行います。また、総務部全員で組合員さんからの出資金等の問合せの対応も行っています。患者さんや利用者さん、組合員さんとは直接関わる事は少ないですが、職員への正確で充実したサービスが、その先の皆様へのサービスに寄与していると信じて日々努力しています。 本部総務部 土田信彦

交流しました。神奈川みなみ医療生協も三浦診療所として健康チェックを実施し、50人の方にご利用いただきました。また、三浦東支部も布ぞうりの販売などで参加しました。

神奈川民医連

看護・介護活動

研究交流集会

6月2日(日)ウイニング上大岡で「神奈川民

医連 看護・介護活動研究

交流会が 開催されました。この集会は神奈川民医連で働く看護・介護の職員が、患者さん・利用者さんに寄り添った活動を多くの職員に発信・共有し、さらに発展させるために2年に1回開催しています。 午前中に行なわれた全体会での指



文化企画ではマジックショーも

介護相談室

Q & A

Q 介護保険の改正で何が変わったの? ~その1~

A 2024年4月より、介護保険の制度改正が実施され、以下のような変更がありました。

①地域包括ケアシステムの深化・推進

地域包括ケアシステムについて、現在の介護需要増加に対して、医療・介護などの専門職から地域の住民一人ひとりにいたるまでが連携し、質の高いケアマネジメントや必要なサービスを提供する取り組みを推進。

②医療と介護の連携促進

医療ニーズが高い利用者が増えていることを背景に、適切かつ質の高いサービスを提供する観点から、専門性の高い看護師がサービスを行うことを評価する加算が新設されました。

例えば、短期入所生活介護において、看取り期の利用者へのサービス提供体制の強化を図る観点から、看取り連携体制加算が新設されています。

③自立支援・重度化防止に向けた対応

要介護者が自身の能力に応じて自立した生活ができるよう支援することや、高齢者が自立した生活を継続して営むためには、要介護状態になることへの予防、また重度化防止に取り組む。

介護予防支援の実行を居宅介護支援事業者(包括支援センターだけでなく、ケアマネジャーの事業所)が行えるようになるなど。

④良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくり(制度の安定性・持続可能性の確保に関する改定)

介護老人福祉施設や特定施設入居者生活介護などの給付調整や、医療機関との連携体制の構築が強化。

⑤感染症や災害への対応力向上

高齢者施設等における感染症対応力の向上、高齢者施設等において、感染症が発生した際の対応を評価する加算が新設されています。

⑥高齢者虐待防止の推進

全介護サービス(居宅療養管理指導・特定福祉用具販売は除く)において、利用者の人権擁護・虐待防止を目的に、虐待の発生や再発防止措置が取られていない場合に基本報酬が減算される。

~次号に続く~
在宅センター：N



三浦診療所の報告

発表者 三浦診療所の報告 発表者 三浦診療所の報告

神奈川みなみ医療生協からも三浦診療所・みうら訪問看護ステーション・デイサービス元気の3事業所から演題が提出され、普段努力されている様子がよくわかる報告でした。

